

【東京都杉並区・静岡県南伊豆町】

特別養護老人ホームの整備

背景・取組内容

- ・杉並区と南伊豆町は、昭和49年に同町で区立南伊豆健康学園を開設以来の友好関係。
- ・両自治体共通の行政課題である、高齢化に伴う介護施設の不足。
- ・杉並区が高齢者の選択の幅を広げる取組として「保養地型特養」を南伊豆町へ提案。
- ・現在は、南伊豆町からの提案により、町の中心部に位置する旧中央公民館跡地へ、町健康福祉センターとの共同整備を計画(定員90名)し、平成29年度中の開設を目指している。



効果

- ・用地確保が困難な都市部での特養ホーム不足の解消に向けて、一定の役割を果たす。
- ・自治体間の交流を更に深め、福祉、雇用、観光産業等、地域の活性化を図ることができる。

今後の課題

- ・入居者本人の意思の尊重と家族や地域から切り離されないための十分な配慮。
- ・健康なうちに移住し、社会的関係を築くための、早期からの住み替え支援。